

臨床薬学英语 A Clinical Pharmaceutical English A

医療科目 2年/前期 1単位 自由選択科目

科目責任者 石橋 賢一 (病態生理学教室)

■ 教育目的

フィジカルアセスメントや問診 (医学的インタビュー) の基礎を学ぶ。これらを主に英語を通じて行うことで、グローバルスタンダードの薬剤師になることをめざす。OSCE 対策も行う

■ 学習到達目標

1. 問診 (医学的インタビュー) のポイントがわかる
2. フィジカルアセスメントができるようになる
3. OSCE に合格し、薬剤師の業務拡大をすすめる能力をみにつける
4. インターネットを通じて医療に関する情報を世界中から検索できる。
5. ネットの英語学習サイトが活用できるようになる。

■ 準備学習 (予習・復習)

復習：重要語句をノートに整理する

■ 授業内容

"Developing Clinical Practice Skills for Pharmacist". Kimberly Galt と "Complete OSCE Skills" Kate Tatham & Kinesh Patel から抜粋したプリントにしたがって講義と実習を進める。ネットの英語学習サイトの紹介を毎回行う。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医学英語の基礎・覚え方	病院の診療科、問診の基礎	
2	the patient	患者のデータベースの構築	
3	the pharmacist	医療における薬剤師の役割	
4	pharmaceutical care	薬物による患者ケアの概念	
5	The patient-pharmacist encounter	問診のしかた	
6	The patient's record	薬歴管理	
7	drug information	ワークシート作成	
8	clinical reasoning	EBM の実践	
9	patient care plan	SOAP を立てる	
10	patient outcome assessment	SOAP を評価する	
11	History	胸痛、呼吸困難、発熱、腹痛、頭痛について患者から実際に問診する (ロールプレイ)	
12	Physical Assessment	血圧測定、聴診を行う (ロールプレイ)	
13	Interpretations	心電図とレントゲンを読んでみる	
14	Communication Skills	がんの告知、守秘義務、統計の説明をロールプレイで行う	
15	海外の薬局、薬剤師	OTC、サプリメント、大衆薬、大手薬局チェーン、PharmD、テクニシャン、コミュニティー薬剤師、専門薬剤師	

■ 授業分担者

石橋 賢一

■ 成績評価方法

出席・授業態度 (20%)、期末試験 (80%) で総合評価する。

■ 教科書

"Developing Clinical Practice Skills for Pharmacist". Kimberly Galt と "Complete OSCE Skills" Kate Tatham & Kinesh Patel から抜粋したプリント

■ その他

自由選択科目で選択科目にカウントされないが、(臨床医学の基礎を履修しておくことで) 海外研修コースや、病態生理や薬物治療学の単位が取得しやすくなる。